

# 昭和五十七年度第十五回中央教化研究会議開催要綱

一、開催日時 九月二日(木)・三日(金) 一泊二日

二、会場 池上本門寺朗峰会館 東京都大田区池上二一一一 電話〇三―七五二―三二〇一

三、宿舎 朗峰会館

四、開催趣旨 (1) 遠忌後の八十年代における教化活動の内容とプランを考えていこう。

(2) 教化の事例体験と成果をまとめるため「教化学」の研究と教材資料の収集作成活用について方策を具体化していこう。

(3) 教化のための組織化と教師間の教化交流を促進する方策を検討していこう。

五、統一テーマ 立正安国と現代教化

六、分科会テーマ ① 遠忌後の教化活動をめざして

立正安国の精神を活現し、現代社会に生きる人々に向って、私たちはどんな社会地域教化にとりくむべきなのか。(教学・社会問題合同部会)

② 教化のための研究と事例の交流と教材資料の作成をめざして

寺院護持及び檀信徒・青少年・高齢者などへの効果的な教化内容と活動はどうあるべきなのか。(寺檀・

青少年教化・文書視聴覚合同部会)

③ 教化組織の充実と教師の教化交流をめざして

教師が協力しあい、教化活動を活発に行なうために、私たちは何をすべきなのか。(子弟教育・教化組

織合同部会)

七、基調講演 現代宗教研究所

八、特別報告 東京・実相寺住職酒井謙祐師、埼玉・正法寺住職宗川円学師、京都・大輪院住職石田良正師

九、映画 「にんげんをかえせ」上映(子供達に、世界に被爆の記録を送る会製作)

十日 日程 第一日目(九月二日)

1 受 付 午前十時～午前十時三十分

2 開会式 午前十時三十分～午前十一時 朗峰会館

3 基調講演・全体会議 午前十一時～正午 朗峰会館東の間

4 昼 食 正午～午後十二時三十分 朗峰会館西の間

5 特別報告 (質疑応答)

映画上映 午後十二時三十分～午後二時三十分 朗峰会館東の間

6 分科会 午後二時三十分～午後五時 指定会場

7 入浴休憩 午後五時～午後六時

8 懇親会 午後六時～午後八時 朗峰会館西の間

第二日目(九月三日)

1 朝 勤 午前五時～午前六時 本門寺大堂

2 朝 食 午前七時～午前八時 朗峰会館

3 分科会 午前九時～正午 指定会場

- 4 昼 食 正 午～午後十二時三十分 朗峰会館西の間
- 5 全体会議 午後十二時三十分～午後二時三十分 朗峰会館東の間
- 6 閉会式 午後二時三十分～午後三時 朗峰会館東の間
- (イ) 宗務所長より推薦された本宗教師（二名乃至二名）
- (ロ) 中央・地域教化研究会議運営委員

十一、参加資格

## 基調講演

### 中 濃 教 篤

（現宗研顧問）

我々は、何を考え何を重点的に、人類に対し取り組んでいかななくてはならないのか。このような問題点を、核問題という視点にたってみていきたいと思う。

「池上」という雑誌の中で、金子日威管長がのべられ

ているように、現在問題となっているのは、核戦争による人類絶滅の危機である。昭和五十五年九月、当時の国連事務総長であったワルトハイム氏は、「世界に現存する核爆弾の総数は四万発を超えている。その威力はヒロシマ型の原爆の百万個分に当たり、人類消滅の危機が著しく高い」と指摘している。またその前の昭和五十三年には、第一回国連軍縮特別総会が開かれたが、そのうらで核兵器の準備が大幅に増大されている。これを別の角度からみると、核の軍備競争は軍事費がかさみ、人々の生